

算数科における学力向上のための取組

【春日部市教育委員会】

- 1 学校、学年、教科 小学校、全学年、算数
- 2 ねらい

児童の学ぶ意欲を高め、個に応じた指導を工夫することで、児童の基礎・基本の定着とともに、学力の向上を図る。

3 取組内容

(1) 算数オリエンテーションの実施

算数の学習の進め方（学習課程）やノートの書き方、少人数指導のコース分けなどを、各学年の学習始めに学ぶ時間を設定した。



《少人数のコース設定》

- ①タンポポコース…基礎・基本を確実に身に付け、学ぶ楽しさや分かる喜びを感じられる学習指導の展開を図る。
- ②コスモスコース…基礎・基本を確実に身に付け、論理的思考力・表現力の向上を目指す学習指導の展開を図る。
- ③ヒマワリコース…より高度な論理的思考力・表現力の向上と学習理解を目指す学習指導の展開を図る。



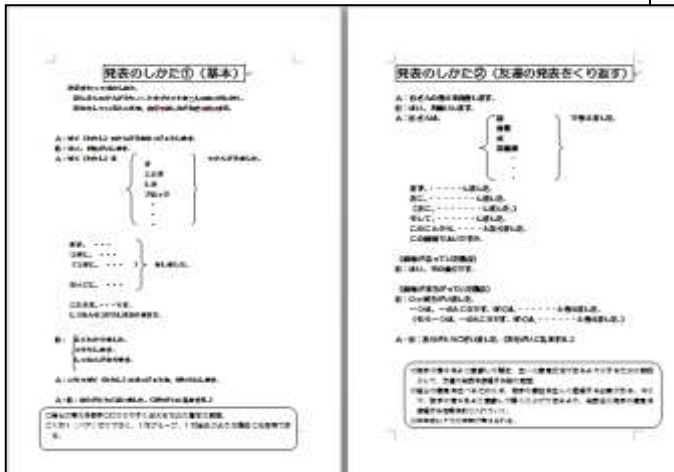
《学習の進め方（学習課程）》



《ノートの書き方》

(2) 意見交流のための話型モデルの作成

意見交流学習の手助けとなる話型の基本モデルを作成し、発表や話し合いの方法、発達段階に応じて、随時手直しをしながら活用した。



(3) 算数体験コーナーの設置（掲示物の工夫）

各学年の廊下には算数掲示コーナーを作り、今月の学習内容をタイムリーに掲示したり、階段には公式やキーワードを掲示したりした。また、実感から学びを意識できるような算数体験コーナーを設け、生活の中で算数学習に触れられるようにした。



《階段の掲示》



《重さ》



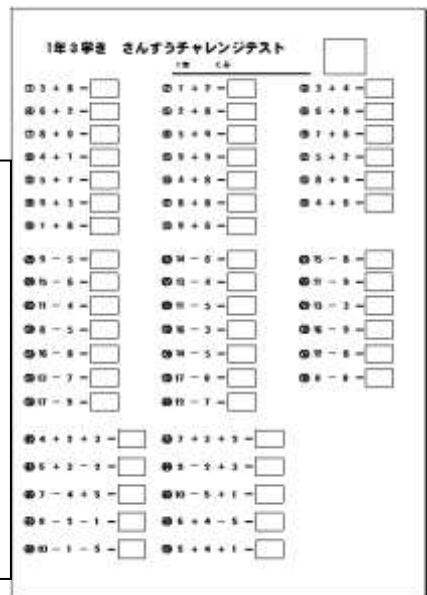
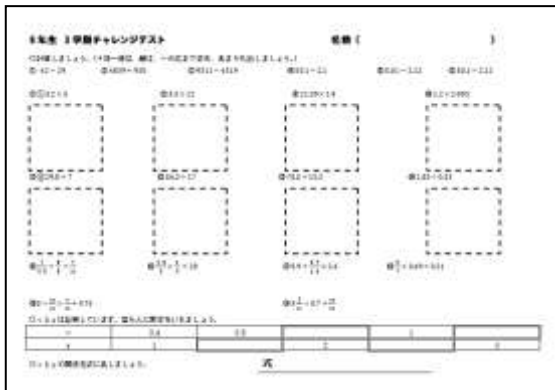
《長さ》



《図形》

(4) 計算チャレンジテストの実施

毎学期末に、その学期に学習した内容を中心としたテスト（チャレンジテスト）を実施している。90点以上を合格とし、合格するまで繰り返し再テストを行い、習熟を図る。



4 成果と課題

年度当初の算数オリエンテーションの時間設定により、学習過程やノートの使い方、話型など、全学年が同じ土台で算数の学習を進め、一貫性のあるスムーズな学習を行うことができた。また、意見交流を数多く経験することで、児童は自信をもって考えを伝え合うことができるようになってきた。今後は、基礎・基本のさらなる定着のため、家庭学習における手立てを講じていきたい。

